

シンポジウム

部落問題の今をめぐって

～国際的な視点から

日時 2008年8月2日(土)

午後2時～午後5時

場所 大阪国際交流センター 2階小ホール(地図参照)
(大阪市天王寺区上本町8-2-6)

プログラム 「部落問題の今をめぐって」～国際的な視点から

- ① シンポジウムの意義と課題
- ② テーマ別報告
 - ・ マイノリティを作り出す社会のメカニズム
 - ・ 変化するマイノリティのアイデンティティ
 - ・ マイノリティの中間層が果たす役割
- ③ 全体討論

報告者 ワークショップ参加の国内外の若手研究者の中から
(アメリカ3名、インド1名、韓国1名、フィリピン1名、日本5名)

コーディネーター 平沢安政(大阪大学教授、部落解放・人権研究所理事)
(※ 逐次通訳あり)

今年40周年を迎える社団法人部落解放・人権研究所は早くより国際的視点からみた部落問題の解決を重視し、海外のさまざまな機関、組織、個人の研究者等と研究・経験交流を行ってきました。その土壌をもとに、さらに研究を進展させ、部落問題のみならず、世界のマイノリティ問題の解決に資する道筋をつけていく必要があります。そのため、部落問題をさまざまな角度から研究してきた内外の若手研究者を中心にしたワークショップを、本シンポジウムに先立って7月31日と8月1日の2日間行います。その成果を、できるだけ多くの皆様と共有して次代につなげていくために、この公開シンポジウムを開催いたします。ふるってご参加ください。

参加資料費 2,000円(学生1,000円) 【定員200人】

主催 社団法人部落解放・人権研究所
大阪市浪速区久保吉1-6-12

【Tel】 06-6568-0905
【Fax】 06-6568-0714

お申し込み・お問い合わせは

【Tel】06-6568-0905まで

このシンポジウムは一部、
2008年度日本万国博覧会記念基金事業助成金の
交付をえて開催されます。

手話通訳が必要な方は7月18日(金)までにお申し込みください。

7月31日・8月1日に「部落問題の今」をめぐる若手研究者の国際ワークショップ(原則非公開)が開催されます。オブザーバー参加を希望される方は研究所のワークショップ事務局(電話上記)までご連絡ください。人数に限りがあるためお断りする場合がありますのでご了承ください。



- 地下鉄…「谷町9丁目」(谷町線・千日前線)③番または⑤番出口から徒歩10分
「四天王寺前夕陽ヶ丘」(谷町線)①番または②番出口から徒歩10分
- 近 鉄…「上本町」から徒歩5分
- 市バス…「上本町8丁目」バス停から徒歩1分